



11月号
平成27年11月30日

わらべ 和良辺

校長室たより
田原市立童浦小学校
杉本 説子

笠山だでのんまつり

素晴らしい秋空の元、10月24日に第18回笠山だでのんまつりを開催することができました。午前中は、地域や専門家の皆様方に来校していただき、多くの体験講座を開いていただきました。地域の皆さんに教えていただきながら先人の知恵を学ぶという体験ができるということが、何より価値あることだと感じています。

笠山に移動しての午後の部では、今年から5年生が、ついた餅をふるまう仕事の手伝いをしました。6年生が抹茶をふるまっていますが、5年生も自分たちができることをすることで、やりがいを感じるすることができました。

早朝から準備してくださった校区役員さんをはじめ、民生児童委員、老人クラブ、女性クラブ、子ども会、消防団の皆さま方、大変ありがとうございました。また、PTAの委員さんには、当日だけでなく何度も学校に足を運んで準備していただきました。子どもたちには、「目には見えない部分で働いてくださる多くの人のおかげで、この楽しいだでのんまつりが体験できる。」ということを各担任から具体的に伝えた上で、まつりに参加しました。ふるさと童浦の素晴らしさが実感できる1日になりました。



学年みんなで心を合わせた学芸会

11月14日に学芸会を開催しました。雨天となり、児童の出入りが練習通りにできなかったため、延長が心配されましたが、大道具係等の頑張りもあり、ほぼ予定通りの時刻で上演することができました。一人一人のセリフは少ないですが、「学年みんなで心を一つにして素晴らしい作品を仕上げる」ということを目標に、各学年真剣に練習した成果を見ていただくことができたのではないかと思います。6年生は、会場の準備や片付け、係りの仕事でもしっかりと役割を果たし、また一回り成長したように感じます。お忙しい中、ご観覧いただきありがとうございますございました。



1年 ためきばやし



2年 クック島のぼうげん



3年 うらしまたろう



4年 五色の森の闇の魔女



5年 歌・器楽 力を合わせて



6年 峠に降る雪

角立漁の見学

11月17日の朝6時に白谷の漁港に集合し、白谷の藤城和敏区長さんに船に乗せていただいて、3年生担任と白谷の角立漁を見学させていただきました。わずか30分余りの間に仕掛けた4つの網から、大きなブリやマダカ、コノシロやイワシなどが次々にあがる様子に感嘆しました。



その日の集会で子どもたちに分けていただいたマダカを見せると、校区の身近な海でこんな大きな魚がとれることに子どもたちは驚いていました。

3年生は、総合的な学習で、ビデオで撮影した魚の様子を学習しました。当日、万太郎寿司の真木さんに無理を言って、学校でマダカをさばいて刺身にする様子も、子どもたちの前で実演していただきました。校区には伝統的で豊かな営みが残っており、その様子を少しでも子どもたちに伝えることができた貴重な機会となりました。渥美漁業協同組合の副組合長の藤城光利さんをはじめ、藤城区長さん、真木さん、ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

